

トワーム通信第25号

医療法人社団松弘会
介護老人保健施設トワーム熊谷
埼玉県熊谷市小曾根337-1
TEL: 048-599-3377

2022年6月発行

BINGO大会

前回療養棟で大盛況だったBINGO大会。今回は療養棟だけでなくデイケアでも開催されました。皆様どんどんカードは開いていくのになかなかBINGOにならず、「次〇〇番出して〜!!」とあちらこちらから声が上がっていました。お一人BINGOが出ると続々とBINGOの方が...

デイケアでも療養棟でもBINGOに参加されたすべてのお客様に景品をご用意。

デイケアではBINGOになった順に景品のランクが変わり、一番にBINGOになられた方にはなんとクオカードのプレゼント!! 療養棟ではお客様にお好きな物を選んでいただきました。景品には普段使えそうな靴下やタオル・小物入れなどもあり、皆様とっても真剣に選ばれておりました。(笑) 「おめでとうございますっ!!」の声にとってもいい笑顔。ドキドキワクワクのBINGO大会は今回も大盛り上がりでした♪

見事クオカードをGET!!

トワーム熊谷自慢 お食事紹介コーナー

大好評の生寿司です!



お楽しみおやつ今月も美味しかったですね♪

5月も盛りだくさんの行事食を提供してきましたが、いかがでしたか? 暑い日が続いています。食事以外にも水分補給をしましょう!

戦国武将物語

-宮城・伊達政宗-

避難訓練

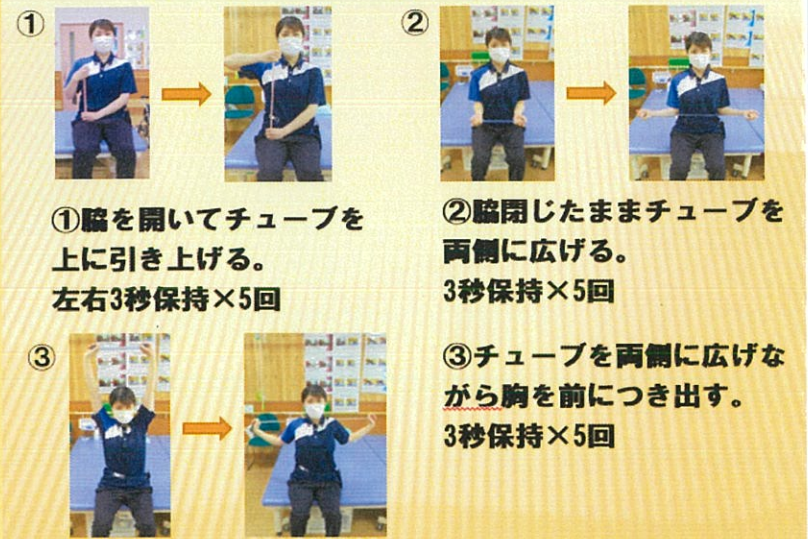


今年もデイケアをご利用されているお客様の協力を得て避難訓練を実施しました。携帯からサイレンの音が響き渡ると、訓練だとわかっているにもかかわらずドキドキしてしまいますね。お客様を無事に避難場所である屋上に誘導した後は、水消火器で消火訓練を行いました。いざという時に慌てず的確に行動できるよう、こうした積み重ねが大切だと改めて感じました。



ロコチューブを使った運動

皆様ロコチューブをご存じでしょうか? 握りこぶがついた柔らかい伸縮チューブで、リハビリやエクササイズに用いられており、ネットでも販売しているので、手軽に手にすることができます。当施設でのリハビリでも活用しているので、実際に使ったことのある方もいらっしゃるかもしれませんがね。両端を握って、チューブをグーンと思い切り引っ張ってストレッチ。肩関節の可動域・上腕筋・背筋の筋力向上にとっても効果的で、筋力がアップすれば物の持ち上げやお着替えがスムーズにできるようになります。お家で簡単に筋力アップ♪ぜひお試しください。



面会制限一部解除のお知らせ

新型コロナウイルス感染予防に伴い、面会制限に対して長きにわたりご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。県内の感染者数減少に伴い、6月20日(月)より面会制限を一部解除することといたしました。

- ◎2階・3階の談話コーナーにてパーテーション越しの面会となります。※お客様との接触はお控えください。
- ◎祝日・年末年始(12/31~1/3)を除く、月~土曜日の14時~16時でのご予約となります。
- ◎面会時間は15分となり、時間になりましたらお声掛けさせていただきます。
- ◎面会者はご家族様1名とし、コロナワクチン接種を2回受けている方のみとなります。面会の際には接種済証を毎回確認させていただきます。お忘れになった場合は窓越し面会に切替させていただきます。※未就学児・学生は窓越し面会のみとなります。
- ◎面会前に検温を行っていただきます。37度以上の場合は面会は中止となります。
- ◎多くの方にご利用いただく為に、土曜日につきましては月1回のみの利用とさせていただきます。

窓越し面会・LINE面会のご予約も承ります。その他にも注意事項がございますので、詳細につきましては請求書同封のお知らせをご参照ください。ご不明な点などございましたらお問い合わせくださいませ。

施設長 矢島の独り言

地球平均気温(全地球表面を均等に数万個に分割して各部分の測定温度の平均値、季節に関係ない)は10万年周期で氷期(平均気温7~12℃)と間氷期(平均気温15~17℃)を繰り返しています(ミランコビッチ・サイクル)。今は間氷期から氷期に移行している時期(現在の地球平均気温は15℃)ですが、8000年前からの森林伐採や5000年前からの水田耕作など人間活動により二酸化炭素(CO₂)やメタンガスなどの温室効果ガスが徐々に増加してきたため寒冷化が緩徐になっていました。温室効果ガスが徐々に増える分には生態系や農業への影響は少ないですが、1750年の産業革命以後石炭・石油など化石燃料の燃焼によりCO₂放出が急激に増えたため、1950年以後は寒冷化が温暖化に逆転しました。2022年の地球平均気温はすでに産業革命以前のレベルから1.1度上昇しています。そのため気象庁によれば年間の猛暑日数、記録的集中豪雨発生回数、無降水日数などが増加してきています。それが近い将来地球平均気温が1.5度上昇まで到達すると、「ますます激しい熱波が、ますます頻繁に起きる」と言われており、IPCCやCOP26では「1.5度に抑えるためにCO₂排出を減らす努力を各国で追求すべき」と共同宣言しています(図)。

新人類がアフリカから全世界に拡がった4万年前の地球平均気温は7~9℃で、この頃の世界人口は50万人ほどでした。1万年ほど前に氷期が終わり急に気温が上昇して縄文時代には地球平均気温が現在より2℃高い17℃になっていました。このころの世界人口は500~1000万人で狩猟生活でしたから、海面が上昇しても内陸の森に移動すればすむ話でした。しかし、2022年の世界人口は79億5400万人です。海面が上昇して平野が水没したら、多くの人が住む場所がなくなり、農地が少なくなり、80億人もの食料を確保することはできなくなります。

今より50年前に、地球温暖化を予測しCO₂の蓄積が地球温暖化を招くことを理論づけたのが、真鍋淑郎先生(90歳)で、2021年度ノーベル物理学賞を受賞されました。今のままCO₂排出を続けると2050年には地球平均気温が2度上昇し(図)、夏には気温が47度を超える日が続くと言われています。

私たちができるだけ省エネに努めてCO₂排出を少しでも減らす努力をしましょう。

